

競技上の注意事項とお願い

1. 本大会は、2021年度（財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会の開催要項によって運営する。
2. 本大会は、（財）日本陸上競技連盟広告規定を適用する。
3. ウレタン舗装以外の部分を通るときは、スパイクシューズは脱ぐこと。
4. 貴重品は自分の責任において保管すること。更衣室のロッカーを使っても良い。
5. 参加資格
 - (1) 2021年度山口陸上競技協会に登録している競技者及びふるさと登録競技者であること。
 - (2) 年令基準
 - ①成年の部 平成15年4月1日以前に生まれた者。
 - ②少年Aの部 平成15年4月2日以降平成17年4月1日までに生まれた者。
 - ③少年Bの部 平成17年4月2日以降に生まれた者。但し、中学生は、3年生のみ参加できる。
5. 招集所（競技者係）は第2ゲート外側付近に設ける。招集時刻に遅れた場合は競技に出場できないことがあるので、時間を厳守すること。**欠場する場合は、欠場届を必ず事前に提出すること。**

招集の時刻は トラック競技 競技開始の30分前に開始し20分前に完了する。
組ごとに招集時刻が異なるので、日程表に記載の時刻を厳守のこと。
フィールド競技 競技開始の50分前に開始し40分前に完了する。
6. トラック競技での、800m以上のレースは、右腰に腰ビブス（主催者準備）を着けること。3,000m以上のレースは、左・右両腰に着ける。いずれも、招集時に競技者係より受取ること。
7. トラック競技は、荷物運搬を行う。①各自で透明のビニール袋(70ℓ)を準備すること。無い者はTICで販売する。（大会期間中使用する）②ナンバーと氏名を記入する。③スタート地点で衣類を入れ、所定の位置に置く。④役員が運搬する。⑤フィニッシュ地点で荷物を受け取り、退場する。
8. スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。
ただし、走高跳、及び、やり投げは12mm以下とする。
シューズ底の厚さはWA改訂規則を適用する。トラック競技は競技者係で検査を受けること。
9. 用器具（日本陸上競技連盟規則によるもののほか、下記の要領で実施する。）
 - (1) 少年男子A300mHのハードルの高さは、0.914mとする。
 - (2) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.000kgとする。
 - (3) 少年男子B砲丸投の砲丸の重さは、5.000kgとする。
 - (4) 少年男子共通110mHのハードルの高さは、0.991mとする。
 - (5) 少年男子共通円盤投の円盤の重さは、1.750kgとする。
 - (6) 少年女子A300mHのハードルの高さは、0.762mとする。
 - (7) 少年女子Aハンマー投のハンマーの重さは、4.000kgとする。
 - (8) 少年女子B100mHのハードルの高さ/ハードル間は、0.762m/8.500mとする。
 - (9) 少年女子B砲丸投の砲丸の重さは、4.000kgとする。
 - (10) 少年女子共通円盤投の円盤の重さは、1.000kgとする。
 - (11) 少年女子共通やり投げのやりの重さは、600gとする。
10. トラック競技のタイムレースで、出場者が9人以内になった場合は1レースに組み換えを行う。
11. 男子・女子走幅跳は、A、Bピットで同時進行で実施する。
12. 男子三段跳の踏切板の位置は12mとする。
13. 競技用具は主催者が用意したものをを使用することとする。ただし、棒高跳のポール以外の個人所有の用器具の使用希望者は、競技開始1時間前までに検査申請書（検定場所に有る）に記入して、係員による検査を受けること。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。

検査場所は用器具庫1（第4ゲート横）で行う。競技終了後、同場所で返却する。

14. 滑り止め（炭マグ）は各自用の小袋に入れたものを、各競技会場で役員から受取り使用すること。不足する場合は各自で準備すること。
15. バーの上げ方は次のとおりとする。（天候などにより変更することがある）

走高跳：男子	1m65 から 2m00 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。
女子	1m35 から 1m55 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。
棒高跳：男子	2m00 から 3m60 までは20cm きざみ。その後は10cm きざみ。
女子	1m80 から 10cm きざみ
16. 補助陸上競技場での練習は7時30分から19時までとする。
補助陸上競技場は、1・2レーンの中・長距離練習、3～5レーンはスタート練習、6～8レーンはハードル練習とする。
ハードル設置は、スタートから3台目までとする。
17. 補助陸上競技場でのやり投の投てき練習は11:00～12:00のみ可とする。
また、ちよるる広場でハンマー投、円盤投の投てき練習ができる。役員の指示に従い、安全には十分注意して行うこと。
18. 携帯電話・ラジオ・CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
19. 競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人の責任において処置すること。
20. 芝生内で水分補給をする場合は、「水」のみとする。スポーツドリンク等は持ち込まないこと。
21. 競技者が走行・歩行不能（即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態）となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長（または権限を委譲された審判員）から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
22. メインスタンド1階への選手の入退場は第1・4ゲート部の出入口を利用すること。（エントランスホールは通行禁止）
23. 雨天走路の利用は一方通行（東から西）とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
24. 競技終了後は、ダッグアウトを通過して第1ゲート退場口へ行くこと。
25. 競技場外のジョギングコースは、スパイクの使用、ハードルの設置は禁止する。
26. 勝手に壁、扉等にテープや押しピン等での張り紙は禁止する。

27. 対コロナ感染症対策のための規定を遵守すること。

- ①関係者は体調管理チェックシートをTICに提出してリストバンドを受け取り、常時装着すること。
- ②競技終了後は直ちに、第1ゲート外の階段よりコンコースに上り、手洗い・うがいをする。
- ③各競技会場に置いてある、消毒液を適時使用してもよい。
- ④競技中（練習含む）以外は、競技場内においても必ずマスクを着用すること。
- ⑤待機場所は、2階コンコースとし、3密は避けること。また、ウォームアップ室は待機場所としては使用できない。
更衣室の使用も短時間とすること。
- ⑥その他、別紙記載事項（別添1、2、3、4）を遵守すること。

※弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。

※競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

※競技場エリア内は全面禁煙です。（スタンド、コンコース、及び競技場周囲を含む）